

令和8年度 県産農畜水産物等小ロット流通体制調査研究業務委託
公募プロポーザル評価基準

- 1 評価項目及び各項目の配点は次のとおりとし、審査員5名が採点する。
- 2 各評価項目の得点（審査委員の評価点に係数を乗じたもの）を合計したものを審査点とする。
- 3 各審査委員の審査点を合計して総合点を算出し、総合点が最も高かった提案者を委託候補者とする。
- 4 3の場合において、最も高い総合点の提案者が複数あった場合は、審査委員の多数決により順位を決定する。
- 5 次のいずれかに該当する提案者は総合点にかかわらず委託候補者とならない。
 - ・審査委員の2名以上が評価点を1点とした評価項目が1つ以上ある場合
 - ・審査委員の2名以上が審査点を50点未満とした場合

区分	評価項目	配点		得点
		評価点 (5点満点)	係数	評価点×係数
1 業務遂行能力				
経営状況等	① ・会社等の規模、人員体制、財政状況等から事業の執行に支障はないか。	5	1	5
実施スケジュール	② ・効果的な実施手順となっており、スケジュールの設定は実現性のあるものか。	5	2	10
実施体制	③ ・本業務の実施に必要な専門知識やノウハウ、スキル等を有する担当者が適切に配置され、確実な業務遂行が可能な体制となっているか。	5	2	10
2 企画提案内容				
企画全体設計	④ ・本事業の趣旨・目的を正しく理解し、その目的に沿った的確な企画提案がされているか。	5	2	10
ヒアリング	⑤ ・提案された調査内容や分析手法は、流通モデルの作成につなげるための課題やニーズを的確に引き出す工夫がされているか。	5	3	15
流通モデルの作成	⑥ ・流通モデル作成の検討手法や作成内容は、効果的で実現性の高い提案となっているか。 ・必要な集出荷拠点の設定やデジタルツールを活用した受発注の仕組みについて具体的に検討されているか。	5	3	15
流通モデルの実証試験	⑦ ・生産者、実需者、流通事業者等との調整を適切に行い、実証を円滑に進める体制となっているか。 ・流通モデルの有効性を検証するための実証内容・方法が具体的かつ適切に提案されているか。	5	3	15
実証実験結果の分析・取りまとめ	⑧ ・実証実験結果の分析手法や視点が具体的かつ適切に提案されているか。 ・分析結果をわかりやすく整理し、今後、活用するためのとりまとめ方針が示されているか。	5	3	15
3 価格点				
見積価格	⑩ ・見積価格は適切な金額か。 5点×応募者中の最低価格／提案者の価格 ※小数点以下第1位で四捨五入	5	1	5
合計（審査点）				100

各評価項目の評価点（5点満点）は次を目安に評価する。

- | | | | |
|--------------------|----|-----------------|----|
| ・非常に優れている／非常に期待できる | 5点 | ・優れている／期待できる | 4点 |
| ・委託先として望ましい水準 | 3点 | ・やや劣る／あまり期待できない | 2点 |
| ・要求水準を明らかに満たしていない | 1点 | | |